

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 伊藤宣広	(学部) 経済学部
1 重要事項 (教育、研究、社会貢献等の分野) [翻訳書] (1) (共訳)ケインズ学会編・平井俊顕監修『ケインズは、《今》、なぜ必要か?——グローバルな視点からの現在的意義』作品社、2014年2月。 [学会報告] (2) 「戦間期のケンブリッジ学派と経済政策」ケインズ学会関東部会(於:立教大学)、2013年10月。 [未公刊の成果] (3) 昨年度より手掛けていた Alfred Marshall 論文集の翻訳作業を完成させた。(現在、校正中であり、2014年度にミネルヴァ書房より出版予定) (4) Marcuzzo, M.C., <i>Fighting Market Failure: Collected essays in the Cambridge tradition of economics</i> (Routledge, 2012)の翻訳(共訳)作業を完成させた。(2014年以降出版予定) (5) Bateman, Hirai, and Marcuzzo (eds.), <i>The Return to Keynes</i> (Harvard 2010)の翻訳(共訳)の校正作業を進めた。(2014年度、東京大学出版会より出版予定) (6) 共著書『ブックガイドシリーズ:経済学』の原稿を執筆した。(2014年度、人文書院より出版予定) (7) 『経済学史研究』掲載予定の書評を一本執筆した。 [学会討論者] 2013年5月の経済学史学会(関西大学)、 2013年12月のケインズ学会(専修大学)、 2014年3月の International Keynes Conference(一橋大学) で討論者を務めた。 [教育・社会貢献] 2013年6月に群馬県立藤岡中央高校に出張し、模擬授業を担当した。 2014年1月に共愛学園高校に出張し、進路ガイダンスを担当した。 2013年7月および8月にオープンキャンパス関連業務に従事した。 2013年8月に高崎経済大学教員免許状更新講習を担当した。 [学会における活動] ケインズ学会の幹事、および大会組織委員を務めた。	

2 その他の事項